

## アヴェ・マリア



新しい月、10月に入りました。皆さまがご存じの通り10月は世界宣教月間とロザリオの月です。そのほか10月には様々な祝日や記念日もあります。順番に言えば、10月2日守護天使、10月4日聖フランシスコ（アシジ）修道者、10月7日ロザリオの聖母、聖イグナチオ（アンチオケ）の記念日があり、聖ルカ福音記者、聖シモン聖ユダのそれぞれの祝日もあります。

親愛なる兄弟姉妹の皆さま

時の流れはあまりにも早く、気候変動の厳しさ中、ストーム・ダニエルによるリビアの洪水をはじめ、世界各地で起こった自然災害の影響を受け、私たちは混乱や不安な気持ちを抱えながら生きています。それでも9月から10月へ過ごして行こうとしている私たちを神様は御自分の力や恵みによって見舞ってくださり、導いてくださると思います。

混乱や不安を強いられている方々、災害で苦しんでいる方々、人生の支えを失った方々、家族を亡くして孤独になった子供たちを想い、一日も早く普通の生活に戻ることができるよう祈りましょう。

苦しみの道を歩みながらそれを乗り越えるためには、マリア様へのお告げからゴルゴタまでの出来事を思い起こしてみると、そこから色々学ぶことができると思います。

私たち人間を苦しませる原因は様々です。

自分の中から自分を苦しませることもあり、自分の外から自分を苦しませることもあります。皆様のご理解の通り、苦しみというものは私たち人間の生活の一部のものです。苦しみ乗り越えるための方法も様々です。苦しみを体験するのは私たち人間だけではなく、神の言葉が人間になって私たちの内に宿られる神の子イエス様でさえ苦しみを受けられました。神の母であるマリア様も、お告げの出来事で混乱を感じながら「神があなたと共にいる」というガブリエルのひとことに支えられました。それからマリア様は生涯、イエス様のことを完全には理解できず、大沈黙のうちにイエス様への信仰を保ちながら、イエス様の宣教活動を心から強く応援し、最後に自分の子と一緒に苦しみました。

キリストへの信仰を保ち他の人にそれを宣教し、自分の子と一緒に苦しんだ聖母は一体どこから力を得たのでしょうか。ただ「神はあなたと共にいる」というひとことだけが彼女の力に他なりません。苦しみだけではなく、自分に、自分の家族に、共同体に対するすべての試練や不安や違和感などを乗り越えようとするときに、小さい人間の私と神様がともにいることを意識することが大事だと思います。

全ての命を守るため、また世界宣教のための祈りを唱えるときに、安心しなさい（勇気を出しなさいという意味）という神の言葉を思い出しながら10月を過ごしてまいりましょう。

2023年10月

カトリック上野毛教会 主任司祭  
ペトルス・ウィリー・ソバ・ドイ O.C.D.